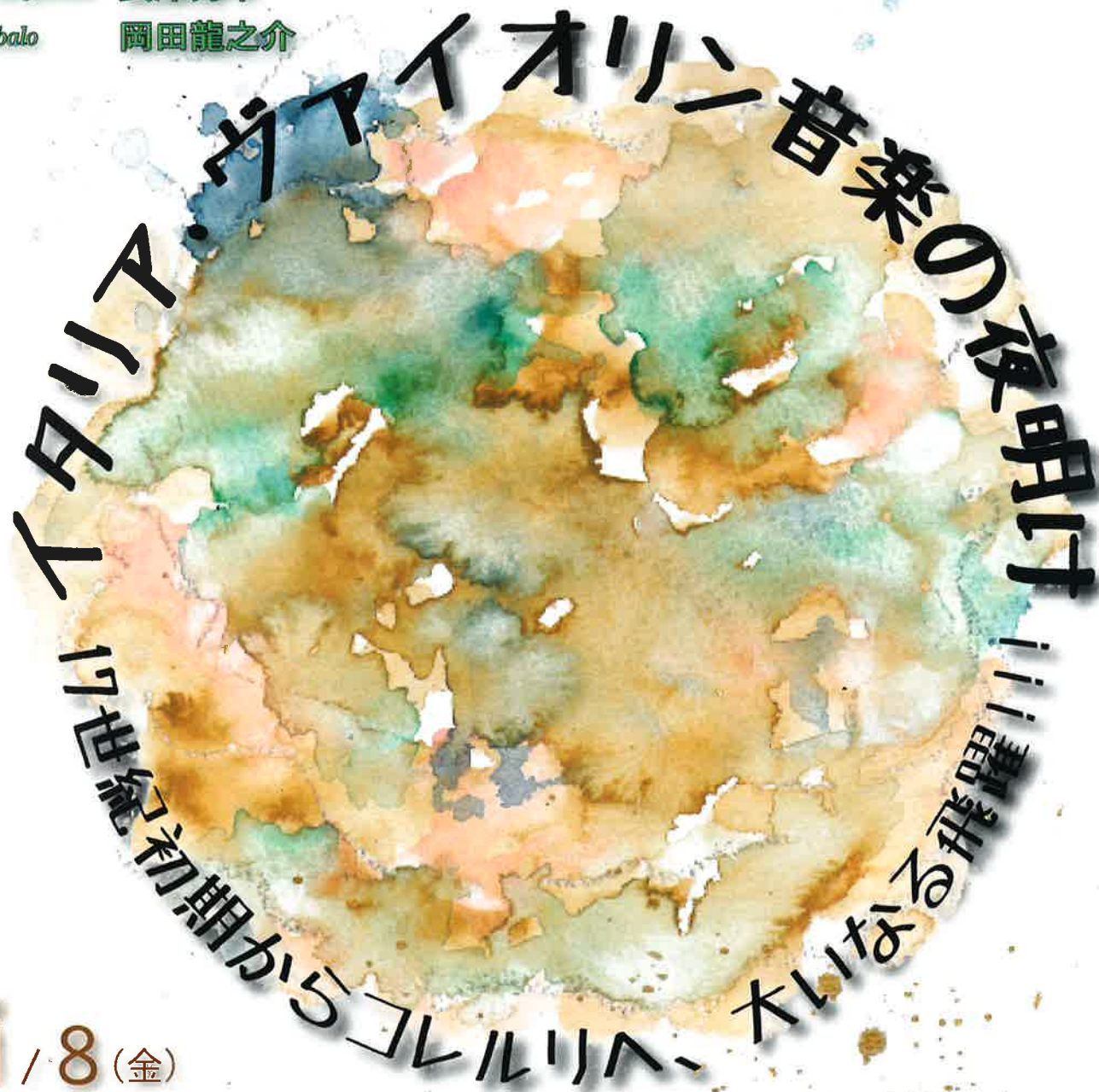


オーケストラ 室内楽シリーズ 20  
ファン・ヴァセナール

violini 赤津真言 鳥生真理絵  
viola da gamba 武澤秀平  
cembalo 岡田龍之介



2019  
11/8 (金)

穂の国とよはし芸術劇場  
PLATアールスペース

〒440-0887 豊橋市西小田原町123番地 tel.0532-39-8810(代)

18:30 開演 (18:00 開場)

チケット 3,500円(一般)  
1,000円(学生以下)

お問い合わせ 御予約

cafe KITOKI 0532-88-3066(鈴木)  
林 080-5135-8763

S. ロッシ(1570~1630)  
ソナタ 6番「対話によるソナタ ラ・ヴィエナ」(作品12)  
*Sonata in Dialogo detta la Viena'*

B. マリーニ(c.1597~1666)  
ソナタ 21番「逃れよ、悲しい心よ」による(作品22)  
*Sonata 21 sopra "Fuggi dolente core"*

M. ウッチェリーニ(c.1630~80)  
アリア 5番「ラ・ベルガマスカによるアリア」(Book 3)  
*Aria 5 sopra la Bergamasca*

A. コレルリ(1653~1713)  
トリオソナタ 12番「チャッコーナ」(作品2)  
*Trio sonata op.2-12 in G major "Ciaccona"*

他



# ごあいさつ

ヴァイオリンの起源は、中東で使われていた楽器ラバープだと言われています。それが長い年月をかけ海、陸を越えてヨーロッパに伝わり(レベックとなって)、16世紀頃のヨーロッパ文化の中心であったイタリアで、コンソート楽器(合奏、伴奏楽器)として広く使われるようになりました。17世紀初期のヴェニスで活躍したモンテヴェルディ、ガブリエリやフレスコバルディ等によって、ヴァイオリンは単なる伴奏楽器から、次第に独奏楽器として華々しく音楽史の表舞台に顔を出すようになりました。それまで旋律を受け持っていた歌やコルネット等が変わって、ヴァイオリンを使ったソナタ(ソロ、トリオ等)が多く作曲されるようになりました。そしてコレルリに至るトリオ・ソナタ作品へと集約されていったのです。今回はそんな流れをイタリア各地の作品から眺めてみたいと思います。

皆様の御来場を心よりお待ちしております。赤津眞言

## 武澤秀平 ヴィオラダガンバ

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て同大学器楽科チェロ専攻卒業。チェロを野崎敏明、山崎伸子、ヴィオラダガンバを福沢宏各氏に師事。2006年~13年新日本フィルハーモニー交響楽団チェロファオアシピエラーを勤める傍ら、国内の古楽演奏会に多数参加。パッサ・コレギウムジャパン、クラシカル・プレイヤーズ・東京、ザ・ロイヤルコンソートのメンバーとして活躍し、桐朋学園大学古楽専攻非常勤講師として後進の指導にもあたった。2015年秋よりオランダ、デン・ハーグ王立音楽院にてバロックチェロをルシア・スヴァールツ、ヤブ・テル・リンデン両氏に師事。



## 赤津眞言 ヴァイオリン

国立音楽大学にてヴァイオリンを守岡輝に、学外でバロックヴァイオリンを小野萬里、室内楽を千成千徳各氏に師事。1987年よりオランダ、ハーグ王立音楽院にてバロックヴァイオリンをシギスヴァルト・クイケン氏に師事する。1991年国際古楽アンサンブルコンクール第二位、1993年にソリスト・デュプロマを得て卒業。在学中よりヨーロッパ内外の団体、ラブティット・バンド、レザール・フロリッサン、ターフェルムジーク・トロント等で演奏。またコンサートマスターをレタラン・リリック、レザグレモン、コンチェルト・クレンデ等で勤める。オーケストラファン・ヴァセナールを1990年より主催し、ヨーロッパ各地で演奏、ラジオ公演、BISとの録音等を行い好評を博している。教育活動にも力を入れアントワープ音楽院、ミュンヘン音楽院等でマスタークラスを、国内に於いても公開レッスンを定期的に催している。現在ベルギー、レメン音楽院(LUCA Lemmens)客員教授。

## 鳥生真理絵 ヴァイオリン

ブリュッセル在住。桐朋学園大学及び同大学院大学を卒業後渡欧し、ブリュッセル王立音楽院にてモダン・ヴァイオリンをフィリップ・グラファン氏に、バロック・ヴァイオリンをフランソワ・フェルナンデス、寺神戸亮の両氏に師事。2018年、同校古楽科修士課程を最優秀賞を得て卒業。現在は、イル・ガルデリーノ、カプリオーラ・ディ・ジョイア、フォーモーザ・バロック、キュレンデ等のアンサンブルの演奏会に定期的に参加するなど、ベルギーを拠点に演奏活動を行っている。AYAMEアンサンブル・バロック、デュオ・インヴェンツィオーネ主宰。



## 岡田龍之介 チェンバロ

慶応義塾大学経済学部、東京藝術大学楽理科卒業。1986年同大学院修了。音楽学を角倉一朗、チェンバロを有田千代子各氏に師事。渡邊順生、宇田川貞夫、ヴィーラントクイケン、ジョスファン・インマゼール、トニコープマン各氏にレッスンを受ける。1983年にルソーの『村の占師』でデビュー以来、栃木蔵の町音楽祭、フィンランド音楽祭、NHK-FM等数多くの公演、ラジオ、録音に参加。国内外の古楽演奏家とのアンサンブルで培った通奏低音演奏には定評がある。近年は指揮、ソロや教育活動に力を入れると共に、各種講習会、執筆活動を通じてバロック音楽の普及にも積極的に取り組む。3度にわたる韓国公演、ドイツ公演等海外でも演奏を行う。1999年第13回山梨古楽コンクールで審査員を務める。1997~2000年サッポロ夏の音楽祭講師、都留音楽祭講師を務めた。現在、洗足学園音楽大学講師。

### 2019年 ツアー日程

- 10月26日(土) 福山アライアンス教会
- 10月27日(日) 尾道カトリック教会
- 10月29日(火) 旧森田銀行本店(福井県坂井市)
- 10月31日(木) いわきアリオス音楽小ホール
- 11月 2日(土) コンツェルト・ハウス(宮城県加美郡)
- 11月 4日(月/祝) 越後森林館(越後杉流通活性化センター)
- 11月 5日(火) 日本ホーリネス教団 東京中央教会
- 11月 7日(木) 沼津市第二地区センター 大会議室
- 11月 9日(土) 日本基督教団 神戸雲内教会
- 11月10日(日) 日本基督教団 鳥取教会

♪♪♪ 活動の進捗をSNSにて発信中♪♪♪

- Twitterは @RedMak63
- www.facebook.com/makoto.akatsu.1
- www.facebook.com/OrchestraVan Wassenaer/
- Instagramは makoto63akatsu
- webサイトは mako17aka.wixsite.com/redmakmak

過去の過去から今日の活動状況等、日常を覗いて下さい。お待ちしております。